

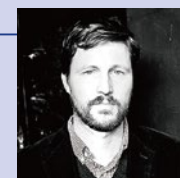
Invited Works

『ウィークエンド』 WEEKEND

2011年/カラー/96分/デジタル/日本語字幕付き上映
監督・脚本・編集: アンドリュー・ヘイ
製作: トリスタン・ゴライアー/撮影: ウーラ・ポンティコス
出演: トム・カレン、クリス・ニュー、ジョナサン・レース

▶11/11[金]16:00～

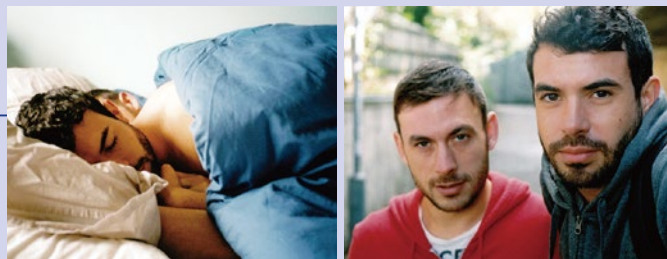
ライフガードのラッセルと、コンセプトualアーティストのグレン。金曜の夜にゲイクラブで出会い、一夜の相手として始まった2人が、週末の時間をかけて、これまでそれぞれが向き合ってきた自身のアイデンティティや、愛や信頼についての価値観を確認する様を、ときに能弁に、ときに繊細に描き出す。ゲイ版『ピフォア・サンライズ』と評され、各国の映画祭で数々の賞を受賞した。アンドリュー・ヘイ監督は、最新作『さざなみ』で世界的ヒットを記録。



監督: アンドリュー・ヘイ/Andrew Haigh

1973年、イギリス生まれ。大学を卒業後、ハリウッドで活躍中のイギリス人監督リドリー・スコットのもとで映画の現場を体験。低予算のインディペンデント長編映画2作目となる本作『ウィークエンド』(11年)で数々の賞に輝き、一躍注目を集め、『さざなみ』(15年)では、ベルリン国際映画祭で主演男優賞と主演女優賞をW受賞した。

橋口亮輔監督推薦!
日本未公開の傑作をプレミア上映!



第38回PFF in 名古屋/開催タイムテーブル

第38回 PFF

検索

※PFFアワード入選監督の来場を予定しています。決定次第、公式サイトでお知らせします。
開場時間…コンペティション部門「PFFアワード」は**30分前**、招待作品部門は**15分前**。

11.11 [金]	毎日、開演時間が変わります。ご注意ください。			▶16:00～ 招待作品部門 『ウィークエンド』	▶18:30～ PFFアワード2016 『回転(サイクリング)』 『シジフォスの地獄』 『花に嵐』
12 [土]	▶10:30～ PFFアワード2016 『バット、フロム、トゥモロー』 『もっけのさいわい』	▶13:15～ PFFアワード2016 『私の窓』 『DRILL AND MESSY』 『山村てれび氏』	▶16:00～ PFFアワード2016 『人間のために』 『溶ける』	▶18:30～ PFFアワード2016 『ツケモノの子』 『福島桜紀行』 『食卓』	
13 [日]	▶11:00～ PFFアワード2016 『傀儡』 『限界突破応援団』	▶13:30～ PFFアワード2016 『おーい、大石』 『波と共に』 『また一緒に寝ようね』	▶16:00～ PFFアワード2016 『楽しい学校生活』 『ヴァニタス』		PiaFilmFestival @pff_award

第38回PFF in 名古屋/チケット料金表

【全席自由席】Pコード:466-952		前売券		
		当日券		
		一般	学生	
コンペティション部門 「PFFアワード2016」	1回券	800	1,000	700
	フリーパス (限定30枚・カタログ付き)	5,000	6,000	—
招待作品部門 『ウィークエンド』	1回券	1,000	1,300	700

前売券はチケットぴあにて、絶賛発売中!

公式カタログ付きのお得なアワードフリーパスで、全20作品を制覇しよう!

【前売券の販売について】

- 前売券の販売は、11月10日(木)まで。
 - チケットぴあ(店舗、インターネット、電話予約)、サークルK・サンクス、セブン-イレブンで販売。
 - チケットぴあ、サークルK・サンクス、セブン-イレブンの店舗で直接購入する場合、発券手数料として108円/枚がかかります。
 - インターネット、電話予約にて購入された場合、発券手数料およびシステム使用料として、324円/枚がかかります。
- インターネットで購入: pia.jp/t/pff/
チケットぴあ音声認識予約: 0570-02-9999
※前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

チケット
ぴあ

【当日券の販売について】

- 学生は、当日券が最安値=大幅割引料金で鑑賞可能です。
- 愛知芸術文化センターのみで販売。
- 当日学生券購入の際は学生証の提示が必要です。

会場 愛知芸術文化センター 12階アートスペースA

【住所】愛知県名古屋市東区東桜1-13-2 TEL:052-971-5511
【交通アクセス】地下鉄東山線「名城線」栄駅、名鉄瀬戸線「栄町駅」下車、オアシス21連絡路經由徒歩3分
【お問い合わせ】PFF事務局 03-5774-5296 (平日11:00～18:00)



2016 11.11[金]-13[日] 愛知芸術文化センター 12階 アートスペースA

主催: PFFパートナーズ ぴあ ホリプロ NIKKATSU / UNI JAPAN 公益財団法人ユニジャパン 共催: AICHI ARTS CENTER aomaa
特別助成: CSEA 一般社団法人 映画演劇文化協会 特別支援: 一般社団法人 日本映画製作者連盟 特別協賛: SEGA-SAMMY GROUP 一信用と創造 住友不動産
PFFサポーターズ: KLOCK WORK / TOPPAN / BS日本映画専門チャンネル / ROBOT / Breakin / 朝日新聞
三井住友VISAカード / DOLBY / JCB / DISK GARAGE / IJmio / 東北新社の映像学校 映像テクノアカデミア
後援: NPO法人 映像産業振興機構(VIPO) / 協同組合 日本映画監督協会

<http://pff.jp/38th/>

PFFアワードは、自主映画のためにあります。自主映画とは、自ら企画し、自ら創り上げる映画。DIY映画です。

だからこそ生まれるよろこびとオリジナリティ、予期せぬ驚きと力への期待を、本年はこの20作品に込めてお贈りします。

そして、今年、PFFアワードは新たなチャレンジを行います！

それは、配信。動画配信サイト「青山シアター」にて、オンラインでPFFアワード作品を観ることが実現します。

※PFFアワード入選監督の来場を予定しています。
決定次第、公式サイトでお知らせします。

※監督の年齢は応募時のものです。

9月の東京開催で、各賞が決定しました！
本年の最終審査員は、この5名です。

最終審査員(敬称略)：遠藤日登思(映画プロデューサー) 沖田修一(映画監督) 荻上直子(映画監督) 佐渡島庸平(編集者) 野田洋次郎(アーティスト/ミュージシャン)

あなたも審査員に。「名古屋賞」に投票しよう！

ご来場いただいたお客様の投票により、「名古屋グランプリ」を決定します。
名古屋では、果たしてどの作品が多くの支持を得るのか？ ぜひ投票してください！



今年の表彰式の様子。各受賞者と最終審査員のみなさん。

A PFF AWARD PROGRAM ▶11/11[金] 18:30~

『回転(サイクリング)』 16分

監督: 山本 英 (24歳/広島県出身)

隣あった家で独居生活する70代の姉と弟。趣味と健康維持にいそしむ姉弟の穏やかな日々を「観察」するうち、2人の習慣が入れ替わる！ 監督の愛情に満ちた眼差しが全編を包む。

『シジフォスの地獄』 19分 審査員特別賞 受賞

監督: 伊藤 舜 (22歳/神奈川県出身)

ひたすら小石を分類する砂利選別作業所で働く石井。使えない新人。唐突に辞めた先輩。石井の耳には冬なのに蟬の音が鳴り続ける。この閉塞した場から、早く逃げろ！ 石井！

『花に嵐』 76分 準グランプリ 受賞
ジェムストーン賞(日活賞)/日本映画ペンクラブ賞 受賞

監督: 岩切一空 (23歳/東京都出身)

大学の映画サークルに入った僕が始める映像日記は、フェイクドキュメンタリー、ミステリー、ホラーと七変化。美人先輩に「脂」と名づけられ嘲笑されても、撮影に突っ走る！

B PFF AWARD PROGRAM ▶11/12[土] 10:30~

『バット、FROM、トゥモロー』 61分

監督: 鈴木竜也 (21歳/宮城県出身)

気弱なノビタ宅に居候する地方都市の大学生イコはカンニングで留年決定。地味な女子に恋するノビタ。衝動的行動が思わぬ結果を招くが、それでも明日はある！と背中を押す。

『もっけのさいわい』 45分

監督: 中泉裕矢 (36歳/茨城県出身)

口論が絶えない倦怠期夫婦のアパートにヤモリが。妻は幸福の印と喜ぶ。すると、彼らの家にモノノケ(=もっけ)が登場！ 微妙な心理の変遷をテンポよく描く、ある結婚の風景。

C PFF AWARD PROGRAM ▶11/12[土] 13:15~

『私の窓』 41分

監督: 渡邊桃子 (22歳/長野県出身)

長野の祖父宅で穏やかな日々を過ごし、美岬は東京に戻る。監督自身の祖父や友人を配役して極私的世界を描きながら、映画の幅、日常で生まれるドラマの可能性を、押し広げる。

『DRILL AND MESSY』 40分 エンタテインメント賞(ホリプロ賞) 受賞

監督: 吉川鮎太 (21歳/京都府出身)

とある美女。男は女を汚して映像を撮る。女は完成させた映像を破壊。彼らにとって芸術とは？ 基盤は性欲？ 憎悪？ 美男美女のボーイ・ミーツ・ガール形式で果敢に問う！

『山村てれび氏』 21分

監督: 阿部理沙 (31歳/東京都出身)

かつて山村家の団らんの中心にあったブラウン管テレビ=てれび氏は、無用の長物に。氏はずっと見つめてきた家族の日々を再生。氏の第二の人生も描く、愛にあふれた作品。

D PFF AWARD PROGRAM ▶11/12[土] 16:00~

『人間のために』 62分

監督: 三浦 翔 (23歳/兵庫県出身)

戦争したくない。民主主義ってなんだ。暴力と痛み。言葉。違和感。大学生の私たちが、今、何を感じているか、探り、記録し、表現しようとする強い意志が、ひしひしと伝わる。

『溶ける』 45分 審査員特別賞 受賞

監督: 井樫 彩 (20歳/北海道出身)

田舎町の女子高校生・真子は、言葉にならない違和感を学校でも家でも抱いている。東京から来た従兄弟、妊娠する同級生。真子の苛立ちは何に對する嫌悪なのか、力強く描く。

E PFF AWARD PROGRAM ▶11/12[土] 18:30~

『ツケモノの子』 22分

監督: 阿部 平 (22歳/福島県出身)

兄と暮らしている女性はタクワン大好き。だが、ある日この世からタクワンの存在自体が消滅、代替物を探し求めるが…。愛や幸福の探求をコミカルに表現する発想力が素晴らしい。

『福島桜紀行』 30分

監督: 鉾井 喬 (31歳/神奈川県出身)

福島在住の監督が県内の桜前線に沿って移動、桜と人々を撮っていく。太平洋側から内陸へ、福島各地の現在が具体的に描かれるなか、静かな語り口と満開の桜に、涙あふれる。

『食卓』 47分 グランプリ 受賞
(バンクーバー国際映画祭/東京国際映画祭 出品)

監督: 小松 孝 (34歳/埼玉県出身)

年金暮らしの父と無職の30代息子の散らかりきった一軒家に、父の再婚相手が参入。3人の孤独を食卓/食事の変化で表現しつつ、「創作」による再生も描く、汚部屋ラブソニー。

F PFF AWARD PROGRAM ▶11/13[日] 11:00~

『傀儡』 77分

監督: 松本千晶 (22歳/神奈川県出身)

恋人を失って12年後、男は故郷に戻り彼女の死の真相を探る。トンネルを抜けたところにある村は、異世界のごとく人も空気も奇妙に歪み…。ねっとりした質感が充満する力作。

『限界突破応援団』 30分

監督: 渡邊 聡 (23歳/福岡県出身)

高校の応援団に入った1年生男子が、伝説の応援王を超えるべく奮闘。応援団の存在意義とは？ という根源的な問いも含めて、熱くもえたぎる青春スポ根コメディ。

G PFF AWARD PROGRAM ▶11/13[日] 13:30~

『おーい、大石』 26分

監督: 菊沢将憲 (41歳/福岡県出身)

平和活動に飽きたキクザワは、橋の下に暮らす大石に再会。そこらの葉っぱを吸ったり劇をしてみたり、おっさん2人の突飛な行動に、喪失、自由、人生、友情が、ポップに炸裂！

『波と共に』 26分

監督: 川添ビラル (25歳/兵庫県出身)

福島から避難した女性のペンションで働くミャンマー人青年と女性の甥。帰る場所を失った、似ているようで異なる境遇を越え、海辺の町で絆を結んでいく姿を情感豊かに描く。

『また一緒に寝ようね』 43分 審査員特別賞 受賞
映画ファン賞(びあ映画生活賞) 受賞

監督: 首藤 凜 (21歳/東京都出身)

「コウモリが天井に張り付いている」と男が言い、1年。一緒に暮らすOLはなすすべなく別の男と逢瀬。過去と現在、幻と現実、さまざまが絡まり、映画の工夫が随所で楽しめる。

H PFF AWARD PROGRAM ▶11/13[日] 16:00~

『楽しい学校生活』 5分

監督: 前畑佑紀 (21歳/鹿児島県出身)

中学校の休み時間、ひとりの女生徒の目から見える教室の風景を描いたアニメーション。楽しい級友や壁の落書きに、心音が鮮明に浮かび上がる。

『ヴァニタス』 104分 観客賞 受賞

監督: 内山拓也 (23歳/新潟県出身)

毎日のようにバスケットに興じる大学生4人。自分の胸のうちや境遇を語らない関係性とやがて起きる破綻を、繰り返しの日常でシャープに描く。ただならぬ映像センスが光る。